

4-1. 知的財産法廷民事専利訴訟事件第一審の有効性抗弁成立率—専利形態別 200807-202512 The Sustained Rate of Invalidity Defenses in the Patent Litigation of Civil First Instance Cases by the Tribunal of Intellectual Property – by Patent Type									
単位：件；% (Unit: case；%)									
専利形態		(1)有効性抗弁提出件数	権利有効性抗弁成立有無			専利権範囲に含まれるかの判断			(3)有効性抗弁提出成立率
			(2)権利無効	権利有効	未判断	含む	含まない	未判断	(3)=(2)/(1)*100
民事第一審 専利判決	件数	984	476.7	168.8	338.5	188.6	361.8	433.6	48.4
	発明特許(延べ件数)	438	207.9	58.1	172.0	73.8	182.3	181.8	47.5
	実用新案(延べ件数)	460	242.8	79.8	137.5	87.8	149.0	223.3	52.8
	意匠(延べ件数)	104	31.1	34.9	38.0	29.8	42.3	31.8	29.9

備考：1.権利有効性抗弁の提出について、裁判所による「未判断」の原因は、非侵害認定又は原告の他の訴えが棄却されるべきであることなので、権利有効の是非を論じる必要はない。

2.2021年7月より、審判の三世代がオンラインとなり、一つの案件がいくつかの専利形態に関わるときは、本表データで別々に延べ件数で計算されるので、専利形態内訳の合計も件数より多いか、又はそれと同様となる。

資料元：知的財産及び商事裁判所